

年 組 名前 :

問1

NEC は、人工知能(AI)を利用した、何を開発しましたか。

.....  
.....  
.....

問2

この技術が実用化されることで、どのような効果が出ると考えられていますか。

.....  
.....  
.....

問3

人工知能(AI)は、日進月歩の技術です。あなたは、今後、どのような分野で使われると良いと思いますか。その理由も教えてください。

分野 .....

理由 .....

.....

.....

.....

.....

.....

# AI 工程の無駄発見

## NEC、年度内に事業化

NECは製品の組み立てなど、手を使った細かい作業の映像を解析し、工程の無駄を見つける人工知能(AI)を開発した。生産性の向上につながるとして、企業に導入を働きかける。2022年度中の事業化を目指す。

「受話器の組み立てを例にとると、「部品のコネクタを手取る」や「コネクタを取り付ける」、「マイクをはめ込む」といった、工程ごとの作業時間を正確に把握できる。企業が想定する工程ごとの作業時間との差が大きければ、従業員に指示した手順は無駄や無理がある公算が大き

い。組み立て方を変えるなどすれば、作業の効率化に役立つ。

AIは両手の指先や関節など計42カ所の特徴的な動きを捉え、どの工程の作業をしているのかを判断する。NEC

は製造業の工場や建設、物流などの現場でも役立つかどうかを検証する。

(2022年7月5日付 山梨日日新聞8面)